

国リ発第700号  
平成30年10月18日

都道府県  
各 指定都市 障害保健福祉主管部（局）長 様  
中 核 市

国立障害者リハビリテーションセンター総長  
（公 印 省 略）

平成30年度 リハビリテーション看護研修会の開催について

標記について、別紙実施要綱により開催することといたしました。

つきましては、貴管内関係施設及び団体等への周知について特段の御配慮を御願  
い申し上げます。



## 平成30年度 リハビリテーション看護研修会実施要綱

### 1 目 的

リハビリテーション看護又は知的障害・発達障害の看護に必要な専門的知識を習得させることを目的とする。

### 2 主 催

国立障害者リハビリテーションセンター

### 3 期 間

平成30年12月5日（水）～12月7日（金）

### 4 場 所

国立障害者リハビリテーションセンター学院（埼玉県所沢市並木4丁目1番地）

※「知的・発達障害コース」の2日目（12月6日（木））は、国立障害者リハビリテーションセンター自立支援局秩父学園（埼玉県所沢市北原町860）が研修会場となります。なお、学院・秩父学園間の移動は送迎バスを用意しております。

### 5 受講定員

50名

### 6 受講資格

リハビリテーション看護又は知的障害・発達障害の看護に2年以上従事し、看護師、准看護師の免許を有している者

### 7 研修内容

別紙日程表のとおり

### 8 研修会費用

5,700円（初日に現金徴収します。なお、宿泊費及び食費は含みません。）

### 9 受講手続

受講希望者は、国立障害者リハビリテーションセンター学院ホームページ（下記URL）にアクセスし、申込案内に従いお申し込み下さい。

URL [http://www.rehab.go.jp/College/japanese/kenshu/schedule\\_2018/](http://www.rehab.go.jp/College/japanese/kenshu/schedule_2018/)

必ず希望コース（「リハビリテーション看護コース」又は「知的・発達障害コース」）を選択して、該当欄にチェックをしてください。

受付け完了後、確認メールが届きます。必ずご確認ください。

確認メールが届かない場合は、下記の連絡先までお問い合わせください。

### 10 申込締切

平成30年11月16日（金）

### 11 受講決定

平成30年11月21日（水）までに、ご登録いただいたメールアドレス宛て通知します。

なお、11月1日（木）までにお申し込みいただいた方については11月5日（月）までに受講決定の通知をさせていただきます。

期日を過ぎても受講決定が届かない場合は下記の連絡先までお問い合わせください。

## 12 修了証書

研修会の全日程を修了した者に対し、修了証書を授与します。

遅刻、早退等があった場合、修了証書を授与できないことがありますので御注意ください。

## 13 宿泊施設

①本センターの研修用宿泊施設に宿泊希望する者は、申込書式の該当欄にチェックをして下さい。

②宿泊費用は一泊2,730円（初日に宿泊日数分を徴収します。） 但し宿泊は研修会当日（12月5日）からとし、初日の研修会終了後の入舎となります。

※研修前日の宿泊はできません。

③宿泊人数には制限がありますので、お申し込みいただいても宿泊できない場合があります。

④宿泊施設での食事の提供はございません。素泊まりのみとなります。

⑤研修用宿舎のため規則があります。ご承知のうえお申し込みください。

入浴 17:30～22:00 門限 22:30 消灯 23:00 外泊不可

⑥宿舎の詳細については当センター学院 研修部門 HP に掲載しています。

（トップページの「研修宿舎」）

<http://www.rehab.go.jp/College/japanese/application/files/7314/9368/2848/kensyulodgings.pdf>

## 14 その他

①お申し込みの際はお名前の文字等、正しくご入力ください。

お申し込み後に入力事項の誤りに気づかれた場合は下記までご連絡ください。

②本研修会に関する照会は、国立障害者リハビリテーションセンター学院にお願いします。

③研修会最終日の終了時間は、プログラムの進行上延長もしくは変更される場合があります。お帰りの航空機、列車等の手配は予め時間に余裕をもってご準備願います。

④一部聴講は受付しておりません。

### 【本研修会に関する連絡先】

〒359-8555

埼玉県所沢市並木4丁目1番地

国立障害者リハビリテーションセンター学院 研修担当

TEL 04-2995-3100（内線 2612・2619）

FAX 04-2996-0966

mail ml-gakuin-kensyu3@rehab.go.jp

URL <http://www.rehab.go.jp/College/japanese/kenshu/>

# 平成 30 年度 リハビリテーション看護研修会 日程表

リハビリテーション看護コース

テーマ：地域包括ケアシステムの中での病院看護師の役割

日 付	午 前	午 後
12月5日 (水)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 受付 (9:50～10:20)</li> <li>・ 開講式 (10:20～10:30)</li> </ul> <p>(10:30～12:00)</p> <p>① <b>地域包括ケアにおける看護活動の展開と連携</b> <b>病院・施設から地域に向けて</b></p> <p>慶應義塾大学 医学部 衛生学公衆衛生学教室 講師 医療法人財団千葉健愛会 あおぞら診療所 在宅看護専門看護師 一般社団法人コミュニティヘルス研究機構 機構長・理事長 山岸 暁美</p>	<p>(13:00～17:00)</p> <p>② <b>地域完結型医療における病院看護師の役割</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 在宅療養可能な患者のイメージと実際</li> <li>・ 地域の多職種との連携</li> <li>・ 介護保険法・障害者総合支援法</li> </ul> <p>医療法人 恒貴会 訪問看護ステーション 愛美園 所長 中島 由美子</p>
12月6日 (木)	<p>(9:00～12:30)</p> <p>③ <b>地域包括ケアシステムにおける</b> <b>病院看護師の役割</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 病院看護師が実践する地域包括ケアシステムへの参画</li> <li>・ 病院組織を超えて地域の看護の質を高める体制整備</li> </ul> <p>NTT 東日本伊豆病院 看護部長 塩田 美佐代</p>	<p>(13:30～16:30)</p> <p>④ <b>地域包括ケアシステムにおける</b> <b>病院看護師の役割</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 在宅での生活を支援する看護の実際</li> <li>・ 脳卒中リハ看護認定看護師が実践する 地域活動の実際</li> </ul> <p>NTT 東日本伊豆病院 看護部 脳卒中リハビリテーション看護認定看護師 主任 市川 真</p>
12月7日 (金)	<p>(9:00～12:00)</p> <p>⑤ <b>地域包括ケアシステムにおける入退院支援</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 入退院支援が求められる背景</li> <li>・ 地域包括ケアシステムにおける当院の取り組み</li> </ul> <p>国家公務員共済組合連合会 九段坂病院 医療連携部 副部長 高橋 由利子</p>	<p>(13:00～16:00)</p> <p>⑥ <b>地域包括ケアシステムにおける入退院支援</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 入退院支援の実際</li> <li>・ 意思表示支援と意思決定支援</li> </ul> <p>国家公務員共済組合連合会 九段坂病院 医療連携部 副部長 高橋 由利子</p> <p>・ 閉講 (16:00)</p>

※プログラムは変更される場合がありますので、予めご了承ください。

# 平成 30 年度 リハビリテーション看護研修会 日程表

知的・発達障害コース

テーマ：知的障害・発達障害児者の健康管理～施設で働く看護師の役割

日 付	午 前	午 後
12月5日 (水)	<p>・ 受付 (9:50～10:20)</p> <p>・ 開講式 (10:20～10:30)</p> <p>(10:30～12:00)</p> <p>① <b>地域包括ケアにおける看護活動の展開と連携 病院・施設から地域に向けて</b></p> <p>慶應義塾大学 医学部 衛生学公衆衛生学教室 講師 医療法人財団千葉健愛会 あおぞら診療所 在宅看護専門看護師 一般社団法人コミュニティヘルス研究機構 機構長・理事長 山岸 暁美</p>	<p>(13:30～15:00)</p> <p>② <b>知的障害施設で働く看護師の役割</b></p> <p>社会福祉法人 北海道療育園 理事長 岡田 喜篤</p> <p>(15:15～17:00)</p> <p>③ <b>強度行動障害の理解</b></p> <p>国立障害者リハビリテーションセンター 病院長 西牧 謙吾</p>
12月6日 (木)	<p>(9:10～10:40)</p> <p>④ <b>知的障害児者の理解、医療現場での配慮</b></p> <p>砂川市立病院附属看護専門学校 主任専任教員 看護師 野田 孝子</p> <p>(10:50～12:00)</p> <p>⑤ <b>発達障害のこどもたちと向き合う臨床の 場から</b></p> <p>社会福祉法人青い鳥 横浜市東部地域療育センター所長 有賀 道生</p>	<p>(13:00～14:30)</p> <p>⑥ <b>秩父学園の健康管理の紹介</b></p> <p>国立障害者リハビリテーションセンター 自立支援局 秩父学園 看護師 室賀 ひとみ、 佐久間 裕子、原島 二三子、箕輪 梨恵、 堀越 徳浩</p> <p>(14:40～16:20)</p> <p>⑦ <b>医療のバリアフリーを考える 自閉症や知 的障害のある人の医療機関受診の問題点</b></p> <p>総合病院国保旭中央病院 脳神経外科部長 大屋 滋</p> <p>⑧ <b>施設見学</b> (16:30～17:15)</p>
12月7日 (金)	<p>(9:30～11:30)</p> <p>⑨ <b>自閉症や知的障害児者の医療支援について</b></p> <p>社会福祉法人 慈徳院 嵐山学園副園長 早川 洋</p>	<p>(12:30～15:30)</p> <p>⑩ <b>知的障害児者の健康管理</b></p> <p>・ 講義 (12:30～14:00)</p> <p>・ グループ討議 (14:10～15:30)</p> <p>社会福祉法人フロンティア いけぶくろ茜の里 看護師 根本 昌彦</p> <p>・ 閉講 (15:30)</p>

※プログラムは変更される場合がありますので、予めご了承ください。